



**答** 連続立体交差事業の高架下利用に当たっては、事業の進捗に応じて、都が、地元区市及び鉄道事業者と高架下利用検討会を設置し、調整を行っています。検討会では、地元区市が把握した地域住民の要望などを踏まえ、沿線のまちづくりとの整合や地域ニーズなどを勘案し、都が中心となって高架下利用計画を策定しています。

京成電鉄押上線（四ツ木駅～青砥駅間）連続立体交差事業の高架下利用についても、同様に取り組んでいきます。



立石駅から見た高架下周辺

# これでいいの？ 区民の宝、水元公園

## 和泉なおみ事務所3度目の調査



和泉なおみ都議と中江秀夫区議 (8/31)



**水元公園は……**  
 水郷景観のある都内唯一の都立公園です。  
 豊かな自然と都市型公園の機能を併せ持ち、多くの都民に愛されてきました。  
 その広さは96ヘクタールと広大で、江戸時代につくられた小合溜

に沿うこの公園には、芝生広場などの明るく乾いた草原、メタセコイアやハンノキなどの暗い樹林、水辺、菖蒲田やガマ田などの湿地や、バードサンクチュアリなどのさまざまな環境があり、だからこそ植物、昆虫や鳥類などの種類がとても豊富です。絶滅危惧種に指定されているものも多く観測されています。

和泉なおみ 都議会議員は、事務所主催で地元のみなさんといっしょに、8月31日、水元公園の3回目の調査を行いました。  
 売店前の噴水は、水元公園の象徴でしたが、いまや植栽になってしまっていて「菖蒲の花が減っている」  
 という声だけでなく、アサザや、都の天然記念物に指定されているオニバスも激減している状況でした。  
 また、公園東側の加用水も汚泥がたまったまま。外環道下の周辺は、整備が行き届かず荒れています。  
 区民の誇りであり、貴重な自然の宝庫でもある水元公園は、東京の宝でもあります。失ったら戻ってこない数々の希少な植物や虫や鳥たち。ちゃんと専門家を配置して自然環境を保全するべきです。都の責任が問われています

### 立石駅の高架下利用

### 区の把握したニーズで検討する

和泉なおみ都議の  
文書質問に回答

本紙37号でお知らせしたとおり、現在進められている京成線の高架化事業では、立石駅を中心に2万㎡もの空間が生まれます。  
 和泉なおみ都議は、「高架化の利用は、住民の要望・意見を尊重」するよう東京都に文書質問でも求めました。

東京都の回答は、「葛飾区が把握した住民ニーズを検討する」というものです。  
 住民本位の町づくりにとって貴重な空間です。どのように利用すべきか声をあげていきましょう。

東京都の回答はつぎのとおりです。  
 1 高架下の利用について地域住民の要望・意見が尊重されるべき……

**答** 連続立体交差事業により新たに創出される高架下空間は、貴重な都市空間であり、地域のまちづくりの視点から、有効に活用することが重要です。

都はこれまでも、連続立体交差事業の実施に当たり、地元要望や多様なニーズを踏まえて、地域のまちづくりに資する高架下利用計画を策定してきました。  
 今後、京成電鉄押上線（四ツ木駅～青砥駅間）連続立体交差事業においても、地元要望等を踏まえ高架下利用計画を策定していきます。

2 都が事業主体者として区や京成電鉄と連携しながら、高架下利用についての丁寧な説明会を開くべきではないか……

# 和泉なおみ都議ら党議員団 風疹緊急対策を申し入れ

和泉なおみ都議と日本共産党都議団は、9月25日、風疹ウイルスに感染しやすい30代から50代の男性に助成を行うことなど、5項目の緊急申し入れを行いました。

5年ごとに流行を繰り返すといわれる風疹は、2013年の大流行から今年は5年目にあたります。

いま風疹発症が急増しています。東京都感染症情報センターによれば、都内の風疹報告数は、今年は196人上っています。

風疹は、妊娠初期の女性が感染する



と赤ちゃんにウイルスが感染し、難聴や白内障、心臓病などの深刻な影響が出る恐れがあります。

風疹の拡大を防ぐためには、社会全体で免疫を持っている人の割合を高くする必要があります。

ところが30代から50代の男性の抗体保有率が低くなっています。これは、この世代のワクチン接種が十分に行われなかったためであり、感染者数もこの世代で多くなっていることから、特に対策が必要です。

## 主な申し入れ内容



1、男性を含め30代から50代のすべての成人に対してワクチン接種ができるよう、区市町村への補助を行うこと

2、医療関係者、教育、保育関係者、妊婦の同居家族など、必要とするすべての人への予防接種費用について区市町村への補助を行うこと

(以下省略)

## 信号機の設置要請

水元神社そばのバス通り  
(水元・西水元地域)

樋口まこと秘書と

中江秀夫区議

7月18日に樋口まこと(和泉なおみ都議秘書)と中江秀夫区議は、地域の方々と亀有警察署を訪れ信号機設置の要請を行いました。

場所は、水元2・5丁目と西水元5・6丁目のローソン前交差点(都道307号)です。

ここは交通量が多く、歩行者が車両の間をねらって横断をしています。特に、コンビニやクリニック・薬局などに行くために横断する高齢者が心配されています。これまでに何度か事故も発生しており、安全対策が必要な所です。またこの交差点は、通学路でもあるため通行量の多い時間帯はさらに危険になります。

対応した交通課長は、「検討して、お返事します」とコメントしました。

和泉なおみ秘書 樋口まこと(談)

和泉なおみ秘書となつて、初めての警察要請でした。それだけに今回の行動は新鮮で、貴重な経験でした。引き続き、地元秘書として力を尽くします。

## 災難は重なる 和泉なおみ

はずすことの出来ない公務があつて、都庁から葛飾へ。新宿駅の南口付近を運転していたとき、突然「ガン」という音が。バイクが私の車を右側を少しよめめきながら通り過ぎ、右のドアミラーは前方に向かって折れてしまっていました。

びっくりして、車を一時停止。私の頭も一瞬思考停止。それから公務先々に電話して事情を話し、遅れることを伝え、警察に電話して事故処理。なんだかんだとその場で1時間半。

幸い折れたミラーは元に戻り、フレームは壊れたものの運転に支障なし。とはいってもやはりいやな気分を抱えたままの翌日。無事に駐車場まで帰ってきたら、な、なんと違う車が停まってる。夜遅かったため、仕方なくその日はコインパーキングへ。やれやれ。

これ以上悪いことがおきかないよう、気を引き締めようと思っているところです。



日本共産党都議会議員・和泉なおみの

## 生活・年金・法律相談

10月9日(水)午後2時より

於・和泉なおみ事務所

事前にお電話ください



毎月第二水曜日に、東部法律事務所(弁護士の協力をいたします)で、「生活・年金・法律相談会」を開催いたします。